



【第45号】

令和7年7月31日

福島県小名浜港湾建設事務所

# おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所  
企画調査課

TEL 0246-53-7126



小名浜港湾建設事務所ホームページはこちら  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/>



Instagram  
二次元コード



X (旧Twitter)  
二次元コード

## 事務所の取組

## えな 江名港に現れた巨大な構造物の正体とは!?



【コンクリート量】  
ミキサー車 7.5台分/個

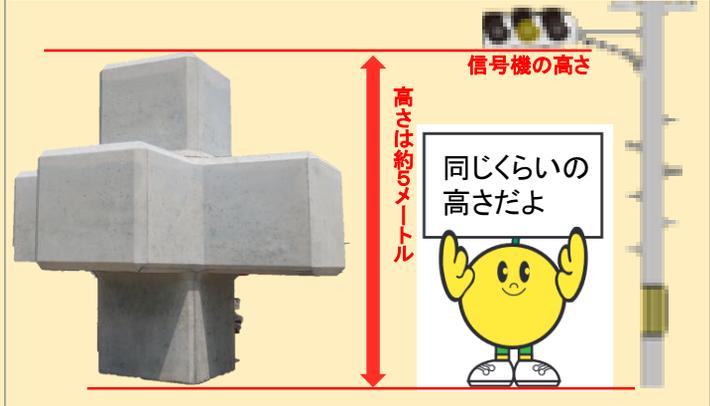


いわき市小名浜から車で北へ約10キロ走ったところにある江名港に、巨大な構造物が現れました。

巨大なコンクリート構造物の正体は、波の強さを弱めるために海に設置する“消波(しょうは)ブロック”です。

消波ブロックには様々な形がありますが、江名港ではサイコロを6個つなぎ合わせたような形をしている「六脚(ろっきゃく)ブロック」を作っています。

ブロックの大きさは、高さが約5m、重さが70トンあり、1個作るためには、コンクリートミキサー車7.5台分が必要で、県内最大級のブロックです。



## ~ブロックの作り方~

【ステップ1】



ブロックを強くするため、ブロックの中に入れる鉄筋を組み立てます

【ステップ2】



組み立てた鉄筋まわりにコンクリートを流し込むための型枠を組み立てます

【ステップ3】



コンクリートポンプ車で型枠の上から、コンクリートを流し入れます

【完成】



型枠を外したら製作完了

約5mの高さがあるため、作業しやすいように、型枠のまわりには足場を設置します。

コンクリートがしっかり固まるためには「水」と「湿度」が必要です。数日間シートをかぶせて水をまきます。

養生(ようじょう)  
数日間置く



次回は、この工事の目的やブロックの使い方について紹介するよ。

ブロックの脚の隅々までコンクリートがいき届くように、パイププレートを使って、丁寧にしっかりと締め固めを行っています。

施工上の留意点は?



現場代理人へインタビュー

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの管理、運営及び整備を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の整備状況や話題等、みなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからご覧いただけます QRコードはこちらです



# 施設紹介

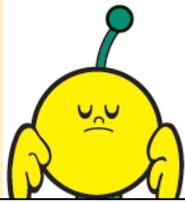
# ルールを守って楽しく釣りましょう♪

小名浜港の「2号ふ頭先端」と「いわきサンマリーナの釣り桟橋」は釣りを楽しみながら海にふれあうことのできる賑わいのある場所です。

利用するすべての人たちが楽しめるよう、ルールを守って楽しく釣りを楽しみましょう！！

## 小名浜港釣りマナー

1. ライフジャケットを着用し転落時の用心をしよう。
2. 強風、霧など天候が悪い日の釣りは避けましょう。
3. 防波堤など立入禁止の場所には入らない。
4. 船が近づいてきたら竿を上げましょう。  
(釣り糸が船のスクリューに絡まる恐れがあります。)
5. 投げる時は、後ろにいる人や船の通りみちに注意しましょう。
6. 飲酒は事故のもとです。飲酒をしながらの釣りはお断りします。
7. ゴミは持ち帰りましょう。残った撒き餌も持ち帰りましょう。
8. 港は海水の動きがほとんどありません。撒き餌は必要最小限にしましょう。
9. 釣り上げたヒトデや海草は、海へ帰しましょう。
10. 散らかった撒き餌等を洗い流しましょう。



マナーを守っていただくよう、御協力をお願いします。



## 今が旬！！いわきのホッキ貝漁

7月某日の朝7時半頃、取材班は塩屋埼灯台から1.5キロほど北にある豊間(とよま)漁港沼之内(ぬまのうち)地区にて、いわき市漁業協同組合の御協力のもと、水揚げの取材を行ってきました。

ホッキ貝は、「噴流式(ふんりゅうしき)貝けた網漁法」と言い、水中に噴流(ジェット水流)を発生させる装置(マンガン)を使って海底の砂を巻き上げながらホッキ貝を獲っています。

四倉ホッキ組合の佐藤文紀(あやのり)さんに詳しく教えていただきました。「ホッキ貝漁の時間帯は、早朝3時半～6時頃、漁の最中に綱が軋んだり船のスピードが落ちてくると貝が沢山獲れているな。」と分かるそうです。

また、いわき市漁協の長谷川課長にもホッキにまつわる話を伺いました。「ホッキ貝漁を行う「噴流式貝けた網」の船は、市内では四倉と沼之内などにあり、それぞれの漁場で漁をしています。」「いわき名産の「ウニの貝焼き」の貝はこのホッキの貝が使われています。」

ホッキ貝のオススメの食べ方は、さしみにしても、さっと湯がいても美味しい。家族で楽しむならホッキ飯かなと仰っていました😊



2号ふ頭先端釣りを楽しむ様子



賑わいの様子

朝8時頃  
入札スタート



いわき市漁業協同組合長谷川課長、四倉ホッキ組合佐藤さんに御協力いただきました。

いわき名産  
ホッキ貝



甘いんです！  
ホッキ貝刺身



## みなとこぼれ話

藤原(ふじわら)川の河口にある「藤原ふ頭」は、かつて丸太などの木材を専用に扱う場所でした。

藤原ふ頭は、今から50年前の1975年から使いはじめ、当時は、丸太などを水に浮かべて保管するための広いプールのような「ちよぼくじょう(貯木場)」がありました。

その頃の小名浜港では、ソビエト連邦など海外から木を輸入していましたが、時代とともに製材やコンテナで運ぶことが多くなり、丸太の扱いは減少していました。

さらに2007年には、ロシア政府が国策で丸太の輸出関税を大幅に引き上げたことにより、丸太の価格が上がった影響もあり、次第に小名浜港での丸太の輸入は無くなりました。

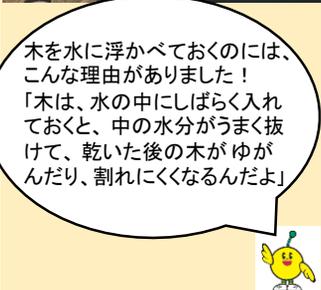
その後、藤原ふ頭の貯木場は、平成10年(1998年)頃までに全部埋め立てられて陸地となり、現在は野積場などとして利用されています。



1984年3月  
貯木場  
藤原川  
藤原ふ頭



2024年9月  
藤原川  
藤原ふ頭



藤原ふ頭の様子(1991年頃)

木を水に浮かべておくのには、こんな理由がありました！  
「木は、水の中にしばらく入れておくと、中の水分がうまく抜けて、乾いた後の木がゆがんだり、割れにくくなるんだよ」



出典元:みなとのおゆみ



いわき小名浜みなとオアシスのPR動画が、いわき市公式YouTubeチャンネルにて公開されています！  
右記QRコードよりチェックしてみてください！



本編



30秒版



15秒版